

2020/2/23-2/29相場見通し

品目		
鉢 花	鉢花	少しずつ入荷が増えてきた。暖冬の影響で3月に出荷を見込んでいたサイネリアが前進し一気に量が増え、相場は非常に厳しくなっている。 また桜やボタンなどの和ものも出荷が多いが、総じて厳しい。 ペラルゴニウムは良品はそこそこ売れている。3月に入るまでは苦戦が予想される。
	苗物	暖冬・晴天のおかげでそこそこ売れていた花壇苗だが、週末は厳しい売れ行きとなった。 ランキユラスの売れが悪く、早出しのバーバナやペチュニアはまだまだ値段がつかない状況
観 葉	大鉢・中鉢	寒さも和らぎ売れ行きはまずまずとなっている。シュロチクやポトス、サンセベリアの大鉢が品薄となっている。
	小鉢	観葉セットなどの引き合いが強く、ポトスの吊りは入荷が少なめ。
	ポット	定番もののポトス・ヘデラ・多肉類がやや苦戦している。
洋 蘭	コチョウラン	大輪系はまずまずの動き。5Fは品薄。ミディー系は相変わらず厳しい。
	その他	入荷は少ないが、デンドロ・シンビともに弱含み。3月に期待したい。
	総括	胡蝶蘭の大輪系は持ち直してきたものの、ミディー系やその他の属の蘭は厳しい販売状況が続いている。3月までは辛抱の時期。

販売状況コメント

休市を挟んだ連休明けは流れが良かったものの以降は急ブレーキ。

好調であった花壇苗もやや陰りが見えてきた。しかし暖冬で気候も良く、すぐ動きは戻ってくると思われる。3月の需要期に向けて流れを作っておきたいところだ。

暖かい日が続いているので3月から出荷を予定していたサイネリアが一気に前進して出てきている。3月にはリーガやサイネリア・オブコを中心に動きが出る見込みだが、来週は辛抱の時期となりそう。観葉類は遠方ものが集まる週頭が中心となる。

ラン類はファレの大輪以外は苦しいが、3月の販売につながるようしっかり売っていきたい。

(株)フラワーオークションジャパン